

# 活力ある 地域社会 の形成のために

多彩な催しで  
地域の活性化を  
活力あふれる地域社会をつくるために、さまざまな事業を実施します。

## しろね30 市民のつどい

本市は昨年六月一日に市制施行三十周年を迎えて以来、二十一世紀を目指した創造性豊かなまちづくりの起爆剤とするために、多彩な記念事業を展開してきました。五月二十六、二十七日には、そのメイン事業となる「しろね30市民のつどい」を行います。すでに工事が完了し

ているカルチャーセンターの竣工式を兼ねた記念式典のほか、記念講演会や、テレビ新潟「笑点」の公開放送、家族そろって楽しめるわくわくファミリーランドなど、盛りだくさんの催しを企画しています。

## そのほかの 記念事業

地域活性化の推進を目指し、市民産業祭を開催します。これは工業、商業、農業が協調して白根の物産を市内外に広くPRするためのものです。

さらにこれまでに行ってきた健康展や社会福祉大会をより発展させたものとして健康福祉まつりを開催します。また、スポーツの振興を図るために、国内トップレベルのフジフィルム男子バレーボールチームを招待して行うスポーツフェスティバル、国内トップランナー二人を招待しての白根マラソンの開催を予定しています。

## 大鳳看板を設置

本市の観光の目玉である大鳳合戦などをPRするための看板を設置します。国道沿い教育委員会敷地内に大鳳看板を一基、大通公園敷地内に観光看板を一基設置します。

## 主な事業と予算額 (単位: 万円)

○しろね30市民のつどい	2,909
○市民産業祭	871
○スポーツフェスティバル	400
○健康福祉まつり	150
○白根マラソン	103
○(仮称)白根ふるさと館建設企画	2,803
○大鳳看板等設置(2基)	950
○カルチャーセンター建設	79,597
○カルチャーセンター管理費	5,831
○カルチャーセンター事業費	735
○地域生活センター冷房設備(8館)	430
○(仮称)北部公民館建設設計委託	280

## 文化・スポーツの拠点 カルチャーセンター

本市の芸術、文化、スポーツ、レクリエーション活動の拠点として、昭和六十三年度から四か年連続事業で建設を進めてきたカルチャーセンター。すでに工事が完了し、市民の皆さんには六月一日から利用していただくこととなります。本年度は建設費、管理費、事業費などを計上しました。

## 白根ふるさと館 を建設企画








本紙十二、十三ページをご覧ください。

昨年三月、市民の皆さんから多くのアイデアが寄せられたふるさと創生事業(自ら考え自ら行う地域づくり事業)。審査委員会が検討した結果、五点の入選作品が決定しましたが、その中から「(仮称)白根ふるさと館」の建設を具体的に推進していくことになりました。

## コミュニティー施設 の充実

地域社会活性化の拠点として各地区に建設され、利用されている地域生活センター。市民の皆さんから強い要望があった冷房設備を、本年度は各地域生活センターの一室に設置します。大通地区など住宅地開発の進展が著しい北部地域に「(仮称)北部地区公民館」を建設するための建設設計委託料を計上しました。地域住民の学習の場として、コミュニティー活動の拠点として、平成三年度の建設を予定しています。

## 市民1人に使われる市の予算 (人口36,128人=3月1日現在)

						
総額	教育費	土木費	民生費	総務費	農林水産業費	商工費
244,021円	52,450円	44,303円	41,123円	25,485円	15,731円 公債費ほか	14,402円 50,527円

## 市民1人が負担する市税 (人口36,128人=3月1日現在)

				
総額	固定資産税	市民税	市たばこ税	軽自動車税 ほか
88,801円	42,052円	39,819円	4,523円	2,407円

1世帯に使われる市の予算  
1,029,305円

1世帯が負担する市税  
374,571円

8,565世帯  
(3月1日現在)

## 企業会計

### ガス事業

事業収益	9億8,528万円
事業費用	9億6,678万円
資本的収入	0万円
資本的支出	2億1,987万円

都市ガスの安定供給と保安整備の確立を目指し、供給体制の整備を図ります。

### 水道事業

事業収益	7億2,962万円
事業費用	6億6,600万円
資本的収入	220万円
資本的支出	2億3,800万円

安くてきれいな水道水の安定供給に努力し、配水管路的確な管理を行うために、配管図の整備作成に取り組みます。

## 特別会計

### 国民健康保険

予算総額 19億0,852万円

制度改正による国庫負担率の引き下げと、医療費の増大が予想されるため、基金からの繰入金と前年度からの繰越金を、当初予算から財源として計上しました。その結果、保険税の一人当たり調定額を前年度比0.1%減の64,400円として積算しました。

歳出面の給付費では、引き続き医療費の増加が見込まれることから、一人当たり医療費の見込み額を前年度比10%増で積算。国保3%運動を柱とした事業運営を進めながら、医療費の適正化を図ります。

### 老人保健

予算総額 21億4,451万円

国保事業同様、健康づくりの推進と、医療、保健、福祉の三者連携により医療費の適正化に努めます。